

イングリッシュ・キャンプ実施報告

例年、1年生全員が校外の研修施設に宿泊し、外国人講師の指導のもとで、様々な活動を英語で行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大により校内で実施しました。

発表活動では、グループごとにSDGsの17の目標から1つを選び、調べ学習の成果を発表することにしました。

1月18日(月)に、事前研修として14名の外国人講師を招き、イングリッシュ・キャンプで行う活動の模擬練習を行いました。ここでは「話すこと」や「やりとり」に重点を置き、外国人講師とコミュニケーションが取りやすくなるようなアクティビティを行いました。

そして2月2日(火)・3日(水)。ついにイングリッシュ・キャンプ当日です。1日目には、講師の出身国に関して多様な文化について学ぶレッスンやSDGsについてのディスカッション、グループ・プレゼンテーションの練習を行いました。

2日目には、グループ・プレゼンテーションのクラス内発表を行い、クラス代表グループの発表をMeet Liveで行いました。

アンケートによると、95%が「英語をもっと勉強したい」と回答し、91%が「英語を話すのが楽しいと思うようになった」と回答していることから、今後の英語学習へのモチベーションになったことがわかりました。

また、90%が「世界の様子に関心を持つようになった」と回答していることから、行事の目的である国際理解に向けての意識づけもある程度できたのではないかと感じています。

自由回答の中には、「とても緊張したが自分の喋った英語が伝わるととても嬉しかった」「英語をたくさん学べると同時に他国の文化を知ることができた」といった達成感が伝わってくるものも多く見られました。同時に、「クイズなどをグループで一緒に考えられて仲も深まった」といったコメントも多数あり、共に学び合うクラスメートとの関係にも良好な影響があったようでした。



講師とのレッスンの様子



Meet Liveの様子



Meet Live をクラスで視聴している様子